

創作土人形



▲中心市街地活性化に一役買う「うさぎの創作土人形」
※まちかど土びな展（3月1日～4月1日開催）で200余り展示されます。

本市は、二系統の土人形（中野人形・立ヶ花人形）が制作されている、全国的に見ても類がない地域です。また、昭和後期に新たな土人形作家が誕生し、それらの土人形も人気があります。近年では、持っている人と最愛の人と巡り逢えるというロマンを秘めた土人形「月の兎」が創作されるなど、土人形の里として知名度が高くなりつつあります。



▲「スキーうさぎ」などを北信総合病院へ寄贈

スキーうさぎ

本年度は、「土人形の里 信州なかの」に多くの観光客の方に訪れてもらおうと、スキー発祥100周年記念と冬の北信州への誘客を目的とした事業に併せて、創作土人形「スキーうさぎ」を制作しま

制作体験

また、今年の干支「辰」も制作しました。起き上がり小法師のような動きが楽しめ、とても人気があります。中心市街地に創作土人形工房「まちなか交流の家」があります。この施設では土人形の制作現場を見学できるほか、土人形の制作体験ができます。

形は、北信地域6市町村の観光施設や病院などに展示されているほか、プレゼント企画も実施しています。また、今年の干支「辰」も制作しました。起き上がり小法師のような動きが楽しめ、とても人気があります。中心市街地に創作土人形工房「まちなか交流の家」があります。この施設では土人形の制作現場を見学できるほか、土人形の制作体験ができます。

また、まちかど土びな展参加店を中心に、お店を紹介する「うさぎの土人形」を創作し、市街地活性化支援をします。



▲スキーうさぎ



▼干支「辰」

万が一に備え加入しましょう 県民交通災害共済

県民交通災害共済は加入者の皆さんが出し合った会費を元に、交通事故などの交通災害にあった場合に、見舞金が支給される相互扶助の制度です。

共済期間 4月1日(日)～平成25年3月31日(日)
会費 1人400円(年額)
申込方法 全世帯へ配布する申込用紙に必要事項を記入の上、居住区の組(班)長、または市役所市民課・豊田支所地域振興課へ会費を添えてお申し込みください。
次の方は、市が加入申し込みを行います。(個人での申し込みは不要)

平成9年4月2日以降に生まれた方(中学生以下)
身体障害者手帳の1級から3級をお持ちの方
療育手帳をお持ちの方
障害者保健福祉手帳をお持ちの方
詳しくは、全戸へ配布するチラシをご覧ください。

詳しくは、全戸へ配布するチラシをご覧ください。

詳しくは、全戸へ配布するチラシをご覧ください。

子育て支援センター2・3月の行事予定

子育て支援センターでは0歳から就学前のお子さんを対象に、毎月楽しい行事を行っています。寒い季節ですが、お気軽にお出掛けください。

施設名	日時	行事
北部子育て支援センター(さくらんぼ)	2月17日(金) 午前10時30分～	バンブー ※北部公民館集合
	3月8日(木) 午前10時30分～	さくらんぼのひなまつり会
中央子育て支援センター(りんごっこ)	2月17日(金) 午前11時～	音で遊ぼう
	2月20日(月) 午前11時～	コカリナ・ミニコンサート
	3月3日(土) 午前11時～	Wパワー 双子ちゃん来てね
豊田子育て支援センター(うさぎっ子)	2月28日(火) 午前10時30分～	げんきっこ ※西部公民館集合
	3月6日(火) 午前10時30分～	うさぎっ子のひなまつり会

※この他にもさまざまな行事を行っています。詳しくは、市公式ホームページをご覧ください。各子育て支援センターへお問い合わせください。

問い合わせ先	電話番号	休日
さくらんぼ	(22) 6622	日・月・祝日
りんごっこ	(22) 2259	日・火・祝日
うさぎっ子	(38) 3012	日・水・祝日



ごんごんごんは 電話医療相談所です

2歳になる子どもが、言葉の一部が詰まったり、繰り返されたりとスムーズにしゃべれず心配です。吃音症でしょうか。家庭でできることを教えてください。

本人が吃音のためにストレスが強い場合は、話し方のトレーニングや心理療法があります。

☆吃音の症状

- 2歳から3歳で見られることが多い。
- 幼児期では4割程度の子どもに見られます。
- 発語の異常のほかに、これに併せて、目をつむる、顔をしかめる、頭を振るなどの体の動きを伴うこともあります。
- 幼児期に発症した吃音の8割は小学校に入学するころには消失します。
- 入学後の学齢期に発症した場合は、思春期でも残存する場合がありますが、多くは、周囲が意識させないように見守っていれば、特別

- 本人にあまり意識させないようにする。
- 吃音があっても、指摘したり、言い直しをさせたりしない。
- つかえても気にせず、ゆっくりと話を聞き、ゆっくり話を返してあげる。
- 吃音を意識して、強い不安を感じたり、人と話すことを避けるなどの様子がある場合は、医療機関を受診しましょう。

問い合わせ先 市役所健康づくり課保健医療推進係

電話医療相談所 ☎(22)2151(内線5522)

電話医療相談所 ☎(22)2151(内線5522) 午前8時30分から午後10時まで 土曜日・日曜日・祝日・12月30日～1月3日は除く 医療に関する相談に電話でお答えします